

教職員の学校評価の結果 R8年7月 実施

<アンケートの考察>

- | | |
|-----------------|------------------|
| A 十分満足している・・・5 | B おおむね満足している・・・4 |
| C あまり満足できない・・・2 | D 努力を要する・・・1 |

で、計算し平均を算出。有効回答数 20 名

☆ 平均が「4.5」以上の項目

- ・ 3 深い理解のために体験学習（GT、校外学習等）を充実させている。
- ・ 11 いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応の徹底をしている（チーム担任）。
- ・ 14 地域とともに、創立 150 周年事業の遂行に向けて準備、実施ができています。
- ・ 15 家庭、地域との連携・協働によるサポート体制の継続ができています。
- ・ 16 HPや各種便りによる積極的な情報発信をしている。

3 年間指導計画の確実な引継ぎにより、どの学年も積極的に取り組んでいる。

11 アンケートや日頃の様子から気になることに、複数（管理職、生徒指導主事、学年団等）で対応し、未然防止、早期対応に努めることができています。

14 150 周年を意識した授業や学校行事に取り組むことができています。連携、協働に向けて、積極的な情報発信を今後も進めていく。

15 学校サポーターさんによる授業支援等、協力体制が構築されている。今後も計画的にお願いしていきたい。

16 情報教育主任のリーダーシップの下、各学年が週に 1 回を目安にHPを作成し、充実してきた。今後も、情報を精査し、伝えたいことがしっかりと伝わるようにしていく。

★ 平均が「4.0」未満の項目

- ・ 4 人の思いを聴き、考え、優しい言葉遣いのできる児童が育ってきている。
- ・ 6 生活の中にある不合理に気づき、解決に向かう力が育ってきている。
- ・ 8 進んで体力づくりに取り組む環境や指導の工夫をしている（ITスタジアム等）。
- ・ 9 望ましい生活習慣（挨拶、靴そろえ、時間を守る等）の継続ができています。
- ・ 10 自主的な清掃活動による利他の心が育っている。

4 目を見て、最後まで聴くことの徹底を心掛けたい。言葉遣いについては、学校全体で見直していきけるよう教員自らが心掛けると共に、全校集会など児童からの発信を行っていく。

6 生活の中の不合理に気付くことは大切であるが、難しい。教員が「それでいい？」と気付かせたり、解決に向けた話をさせたりする。

8 今年度も IT スタジアムに積極的に参加し、体力づくりはもちろん、仲間づくりのきっかけにもしていきたい。外遊びをする児童が減ってきている。気候を考えつつ、西条一広い運動場で、友達と元気に遊べるよう、教員も共に体を動かす習慣を付けていきたい。

9 生活安全委員がよく頑張っているが、正門での挨拶が校内外へと広がっていない。挨拶が返ってこない児童もいる。学校全体の雰囲気上げていけるよう教員も見本となるような挨拶を心掛ける。

10 朝の自主活動が伝統的に続いていることが素晴らしい。教員も含め、高学年の朝清掃の意義を意識統一させていく必要がある。掃除の見届けが足りていない場所があるので、全教職員で分担したり、声掛けしたりしていく。